

平成 28 年 2 月 26 日

農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会
「システム間のデータ交換（主に API～書式）に関する作業部会」
委員の公募について

一般社団法人 ALFAE

一般社団法人 ALFAE では、「農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会」に新たに「システム間のデータ交換（主に API～書式）に関する作業部会」を設置します。ついでには、下記の通り、作業部会の委員を公募します。

農業 ICT に関わる多くの民間企業・研究機関の皆様の、応募をお待ちしております。

記

1. 「農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会」の目的

オープン化、共通化・標準化等を推進し、国際的な Interoperability（相互運用性）の確保を通して「農林水産業を起点とするスマート六次産業化」に資する農業 CPS（Cyber Physical System）を実現する。

2. 「システム間のデータ交換（主に API～書式）に関する作業部会」の活動内容

農業 ICT 分野において営農情報管理システム（Farm Management Information System）を中心に取り扱われる各種のデータを関連するシステム間で相互に電子的に交換するための共通的な書式や手順について、データの種類・対象領域ごとに検討する。

検討の出発点としては、農研機構で考案され SIP 事業で FMIS 間の農業生産工程管理データ交換の基礎として検討されている FIX-pms (www.aginfo.jp/PMS/FarmXML/) を取り上げ、たとえば地理空間情報を含む圃場区画単位の情報交換など、具体的対象領域・データ種類ごとに書式や、必要に応じてコンテンツ内容を検討する。

API については策定された書式構造に沿って想定されるインタフェース群を検討する。検討の出発点としては FIX-pms に対応する PDS（PMS Data Access Service）API を取り上げる。

部会活動としては、発足より 1 年を目途として、メーリングリスト等によるオンライン情報交換と、3～4 回のオフライン（F2F）ミーティングを予定している。上記仕様を出発点として、国際的な動向も視野に入れながら営農情報管理システム周辺の情報流通共通化に向けた合意形成を図る。

予定している検討内容は以下のとおりであるが、部会内での検討によって変更されるこ

ともありうる。

- 1) 各員が保有するシステム・サービスが取り扱うデータ項目・仕様の整理
- 2) 検討対象とする範囲・分野の絞り込み
- 3) FIX-pms 形式および国内外類似規格の仕様共有と適用検証
- 4) 適用検証を踏まえた FIX-pms 形式の拡張または共通形式の提案*
- 5) 国・行政機関と連携した標準化活動への反映

* 「共通形式の提案」にあたっては海外規格化動向なども参考とする。

一つの想定されるロードマップは以下のとおり。

検討項目	1 年目	2 年目	3 年目
1)既存システム整理	←→		
2)対象範囲・分野設定	←→		
3)既存仕様共有と検証	←→		
4)共通形式・仕様検討提案		←→	→
5)国・行政事業との連動反映		←→	→

3. 応募資格

当該作業部会の活動に興味のある民間企業、研究機関、個人

4. 募集人数

10～20 人

5. 任期と報酬

- (1) 任期：委嘱日（平成 28 年 3 月予定）から 1 年間
- (2) 報酬：無

6. 応募方法

- (1) 募集締切：平成 28 年 3 月 7 日
- (2) 提出書類：応募用紙（別添）
- (3) 提出方法：電子メールにて一般社団法人 ALFAE (info@alfae.org) へ送付

7. 選考

提出書類による書類審査（必要に応じて面接を行う場合有）を行い、平成 28 年 3 月頃に採否を電子メールにて通知します。

8. その他

- (1) 応募書類は、返却しません。
- (2) 応募及び面接にかかる応募者の経費については、すべて応募者の負担とします。

9. お問い合わせ先

【農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会事務局】

一般社団法人 ALFAE 東京事務所（担当：山野、木下）

〒105-0004 東京都港区芝 2 丁目 5-19 ITO Bldg 2F 株式会社ワコムアイティ内

TEL : 080-4223-7380 Mail : info@alfae.org

以上